

拝啓 早春の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さてこの度のラグビー部、バレーボール部、ソフトボール部の全国大会出場に際しましては、多くの皆様より多大なるご寄付、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

昨年12月27日に東大阪市花園ラグビー場にて行われました第96回全国高等学校ラグビーフットボール大会では、強豪、兵庫県代表の報徳学園高校と対戦し、全力を尽くしましたが[0-88]で初戦敗退しました。また、東京体育館で行われました第69回全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー2017)では、今年1月4日に、インターハイベスト8の滋賀県代表、近江高等学校と対戦し、惜しくもセットカウント[0-2]で敗れました。そしてソフトボール部は、3月に北九州市で行われる、第35回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会に向け、練習に励んでいるところです。組合せ抽選の結果、3月18日に1回戦で大阪府代表の興國高等学校と対戦することが決まりました。

ラグビー部、バレーボール部とも、残念ながら全国大会での勝利という目標は達成できませんでしたが、選手達はこの大舞台での試合を楽しみながら強豪校相手に全力で挑み戦い抜いてくれました。今後は、今大会での試合経験をこれからの部活動を初めとする学校生活に生かしてくれるものと確信しております。両部とも新チームで臨んだ新人戦でも県大会で優勝を勝ち取り東北大会に出場しております。なお、ソフトボール部の大会結果につきましては、大会終了後、本校ホームページでご報告いたします。

この度の後援会活動にあたり、多くの皆様から多大なるご支援をいただき誠にありがとうございました。本活動の収支決算につきましても、ソフトボールの大会終了後に本校ホームページでご報告いたします。

皆様方から頂きました温かいご支援とご協力につきまして、学校関係者、保護者一同、心より御礼申し上げますとともに、今後ともより一層のご支援ご協力と叱咤激励を賜ります様お願いを申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。

末筆ながら、皆様方の益々のご健勝と今後のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

敬具

平成29年2月吉日

福島県立郡山北工業高等学校全国大会出場後援会

会長・同窓会会長	古川 弘
父母と教師の会会長	鈴木 武義
生徒会部活動後援会会長	吉田 一寿
北工後援会会長	星 芳道
ラグビー部OB会会長	小幡 孝
ラグビー部保護者会会長	橋本 淳子
バレーボール部保護者会会長	村上 明生
ソフトボール部保護者会会長	小林 元一
福島県立郡山北工業高等学校長	木田 英男

連絡先 〒963-8052

福島県郡山市八山田二丁目224番地

福島県立郡山北工業高等学校

教頭 遠藤 敦也

電話(024)932-1199



郡山北工全国大会後援会だより

編集・発行/福島県立郡山北工業高等学校全国大会出場後援会

募金 随時受付中

郵便振替口座記号番号
02290-8-120297
郵便振替口座加入者名
郡山北工業高等学校全国大会出場後援会

ラグビー部花園 バレーボール部春高 今冬も健闘 ソフトボール部も全国選抜に連続 3月北九州で

全国後援会 今年も各チーム支援 募金額1千万円 選手派遣費に 古川弘会長「心より御礼」と謝意

福島県立郡山北工業高等学校ではこのほど、ラグビー部が花園/第96回全国高等学校ラグビーフットボール大会に、バレーボール部が春高/第69回全日本バレーボール高等学校選手権大会に連続出場とともに健闘した。さらに、ソフトボール部は3月18日、北九州で開催される第35回全国高等学校ソフトボール選抜大会に出場する。郡山北工は昨年11月、各部支援のため前年度に続き全国大会出場後援会を組織して同窓生や保護者らに募金協力を依頼し、寄せられた約1千万円は早速派遣費等に充てられた。古川弘会長は「ご支援に心よりの御礼申し上げます」と謝意を述べている。

ラグビー部 花園2年連続2度目 強豪報徳学園に初戦敗退

ラグビー部は昨年11月、いわき市で行われた県大会で磐城に22-21で競り勝ち、2年連続2度目の全国大会出場を決めた。花園初戦は12月27日に東大阪市花園ラグビー場で行われ、郡山北工は兵庫代表の強豪報徳学園

バレーボール部 春高2年連続3度目 インハイ8強の近江に惜敗

バレーボール部は11月、福島市で行われた同選手権大会県代表決定戦で福島工業に3-0でスト

郡山北工で支援への御礼の言葉

福島県立郡山北工業高等学校全国大会出場後援会
会長 古川 弘 (同窓会長)

早春の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さてこの度の郡山北工業高校ラグビー部、バレーボール部、ソフトボール部の全国大会出場にあたりましては、多くの皆様より多大なるご寄付、ご支援を賜り、誠にありがとうございました。誠にありがとうございました。

での初勝利という目標は達成できませんでした。18日の初戦は強豪興國(大阪府)と対戦する。舞台での経験を、今後の部活動を始める際の励みとしたいと思います。残るソフトボール選抜大会では、北工の勝利を心から願っております。皆様方から頂いた温かいご支援に、学校関係者・保護者一同心より御礼申し上げますと共に今後共、郡山北工業高校により一層のご協力を賜りますようお願いを申し上げます。途中経過ではございますが、御礼の言葉とさせていただきます。

募金目標の6割 今後も支援募る

全国大会後援会は昨年、末から募金活動を進め、このほど中間決算報告をまとめた。(下段記事)2月現在の残高は約1700万円、ソフトボール部の派遣費などに充当される。しかし会場が北九州と遠く、派遣費は約4百万円の見込み。事務局は「集まった募金額はまだ目標の6割。北工チームが大会で全力を出せるよう、ぜひ支援してほしい」と、各方面からの善意を広く募っている。

ソフトボール部 全国選抜2年連続19度目 3月18日 強敵興國(大阪)と対戦

ソフトボール部は10月、福島市で行われた福島県高等学校新人体育大会で開催される全国選抜大

裏面に各競技 大会写真を掲載



報徳学園戦後半、スクラムから右サイドアウトを仕掛け、敵陣に切り込む。ナニバ(後藤隆選手)写真左端、建築科2年。東大阪市花園ラグビー場

近江戦第2セット、相手ブロックをかき分け、強烈な攻撃を見せるワイングスハ。イカ(村上直希選手)写真右端、電気科1年。東京都立東芝体育館

県高校新人大会で2年連続26度目の優勝を決めたソフトボール部。全国選抜大会でも活躍が期待される。福島市十六沼公園。(写真:同部提供)

全国大会の両会場には北工の保護者や生徒、教職員らが数多く駆けつけ、観客席から声援を送っていた(写真左は都内のバレーボール競技会場、写真右は東大阪市のラグビー競技会場)

平成28年度全国大会出場後援会中間決算報告 (平成29年2月22日現在)

〈収入〉	募金総額	9,959,238円
	郡山市補助金	1,300,000円
〈支出〉	選手派遣費	6,507,752円
	応援費	2,610,872円
	事務費	4,407,095円
〈差引残高〉		1,733,514円
	ソフトボール部派遣予算	4,158,648円

※不足分は北工後援会より支出予定

大会で活躍する各部の選手たち

ラグビー部 県大会決勝、終了間際のラストプレーで逆転トライを決め、花園出場を果たす(写真・左2枚)、花園開会式で入場行進する選手(写真・右)

バレーボール部 春高初戦、強豪近江に対して力強いプレーを続ける北工の選手たち(写真・全4枚)、観客席からは熱い声援が送られた(写真・右端)

ソフトボール部 県大会で26度目の優勝、19度目の全国選抜を決めた北工は続く東北大会でも勝ち上がり、準優勝した(写真全て東北大会、同部提供)



御礼のごあいさつ
 福島県立郡山北工業高等学校
 校長 木田 英男

日頃より、郡山北工業高等学校の教育活動に、ご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度の全国大会出場に際しましては、心温まるご寄付とともに温かい声援や応援、ご支援を頂きまして誠にありがとうございました。お陰様をもちまして、ラグビー部、バレーボール部、それらが持てる力を十分に発揮し、全国大会での試合を終えることができました。生徒達はこの経験を生かし、次は全国で勝つ一歩を目標に掲げて日々汗を流して活動中です。また、ソフトボール部では、来る全国大会に向けて

この度の全国大会は、生徒達はもとより、我々教職員にとりましても励みとなり、非常に良い経験ができたと思っております。生徒達には、改めて北工生であることに自信と誇りをもち、日々の学校生活に活力と新たな目標を持たせてくれました。

今後、チーム北工として生徒と教職員とが丸となって取り組んで参ります。より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。



郡山北工業高等学校

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予 算 額	決算額	増 減	摘 要
補 助 金	3,000,000	3,000,000	0	
寄 付 金	8,380,000	10,219,508	1,839,508	
雑 収 入	350,000	581,922	231,922	
市 補 助 金	1,300,000	1,300,000	0	
繰 越 金	1,817,411	1,817,411	0	
合 計	14,847,411	16,918,841	2,071,430	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予 算 額	決算額	残 額	摘 要
選手派遣費	10,358,000	9,210,207	1,147,793	
報 償 費	0	0	0	
旅 費	6,750,000	5,209,430	1,540,570	
需 用 費	1,300,000	1,863,503	-563,503	
役 務 費	200,000	212,862	-12,862	
使用料及び賃借料	2,050,000	1,865,116	184,884	
負 担 金	58,000	59,296	-1,296	
応 援 費	3,640,000	3,792,780	-152,780	
旅 費	220,000	258,500	-38,500	
需 用 費	350,000	543,642	-193,642	
役 務 費	70,000	17,240	52,760	
使用料及び賃借料	3,000,000	2,973,398	26,602	
事 務 費	830,000	600,824	229,176	
旅 費	10,000	5,100	4,900	
需 用 費	300,000	290,279	9,721	
役 務 費	510,000	305,445	204,555	
備 品 費	10,000	0	10,000	
予 備 費	19,411	0	19,411	
合 計	14,847,411	13,603,811	1,243,600	

(収入額)

(支出額)

(差引残額)

16,918,841 円 - 13,603,811 円 = 3,315,030 円

(うち100万円は北工後援会会計へ繰り入れし、200万円は北工後援会基金へ積立。→繰越金315,030円)